

平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月6日

上場会社名 尾張精機株式会社
 コード番号 7249 URL <http://www.owariseiki.co.jp/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 兵藤 光司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 児玉 啓二

TEL 0561-53-4121

四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	4,333	5.4	175	539.0	199	421.9	133	
30年3月期第1四半期	4,112	2.3	27	69.8	38		18	

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 53百万円 (378.0%) 30年3月期第1四半期 11百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	115.94	
30年3月期第1四半期	16.20	

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	16,879	11,962	70.0
30年3月期	17,043	11,943	69.2

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 11,814百万円 30年3月期 11,796百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		3.00		30.00	
31年3月期					
31年3月期(予想)		30.00		30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期の第2四半期末配当金については当該株式併合前の金額を、期末配当金については当該株式併合後の金額を記載し、年間配当金合計は「 」として記載しております。なお、株式併合後の基準で換算した、平成30年3月期の1株当たり年間配当金は60円00銭となります。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,400	3.1	550	122.6	630	73.7	470	86.8	406.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 有
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(注)「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものであります。詳細は、添付資料P.7「2.四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	1,165,950 株	30年3月期	1,165,950 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	11,538 株	30年3月期	11,481 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	1,154,443 株	30年3月期1Q	1,155,294 株

(注)当社は、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は4,333百万円と、前年同四半期に比べて221百万円(5.4%)の増収となりました。

利益につきましては、営業利益は175百万円となり、前年同四半期に比べて148百万円(539.0%)の増益となりました。経常利益は199百万円となり、前年同四半期と比べ160百万円(421.9%)の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は133百万円となり、前年同四半期に比べ152百万円の増益(前年同四半期は18百万円の損失)となりました。

セグメント別の経営成績につきましては次のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高は、外部顧客への売上高であり、セグメント間の内部売上高又は振替高は含まれておりません。

(日本)

当セグメントにおきましては、精密鍛造品では、主力部品であるシンクロナイザーリングやシフトフォークの生産を海外に移管したことにより、日本国内の売上高は減少したものの、ねじ類では、主要なお客様である自動車メーカー向けの段付きボルトや新規部品受注の増加により増収、増益となりました。売上高は2,843百万円(前年同四半期比2.9%増)、経常損失は12百万円(前年同四半期は63百万円の経常損失)となりました。

(アメリカ)

当セグメントにおきましては、主要なお客様である自動車メーカー向けの段付きボルトおよびタッピングスクリューの受注の増加により増収、増益となりましたが、為替レートの影響により日本円での換算金額は減収となりました。売上高は260百万円(前年同四半期比1.8%減)、経常利益は32百万円(前年同四半期比57.3%増)となりました。

(インド)

当セグメントにおきましては、主力部品であるシンクロナイザーリングの受注の増加により増収、増益となりました。売上高は474百万円(前年同四半期比9.7%増)、経常利益は148百万円(前年同四半期比61.2%増)となりました。

(タイ)

当セグメントにおきましては、主力部品であるシンクロナイザーリングの受注の増加により増収となりましたが、材料費の高騰等により減益となりました。売上高は692百万円(前年同四半期比12.1%増)、経常利益は30百万円(前年同四半期比17.5%減)となりました。

(インドネシア)

当セグメントにおきましては、前連結会計年度より本稼働を開始し、前年同四半期と比べ増収となり、また利益面につきましては赤字縮小となりました。売上高は62百万円(前年同四半期比86.7%増)、経常損失は0百万円(前年同四半期は50百万円の経常損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ164百万円減少し、16,879百万円となりました。これは、現金及び預金102百万円や受取手形及び売掛金107百万円は増加したものの、商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品のたな卸資産が122百万円、有形固定資産が192百万円減少したことによるものです。

負債については、前連結会計年度末と比べ182百万円減少し4,917百万円となりました。これは支払手形及び買掛金や設備関係支払手形が144百万円減少したことによるものです。

純資産については、前連結会計年度末と比べ18百万円増加し、11,962百万円となりました。これは、利益剰余金は99百万円増加したものの、その他の包括利益累計額が81百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,358,278	3,460,883
受取手形及び売掛金	2,949,428	3,057,343
商品及び製品	927,365	910,688
仕掛品	833,598	773,466
原材料及び貯蔵品	1,226,393	1,180,815
その他	264,506	231,091
流動資産合計	9,559,570	9,614,288
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,713,395	1,686,584
機械装置及び運搬具(純額)	2,215,576	2,146,129
土地	891,880	891,280
リース資産(純額)	325,767	307,576
建設仮勘定	105,178	30,887
その他(純額)	90,143	87,096
有形固定資産合計	5,341,941	5,149,554
無形固定資産	25,279	23,879
投資その他の資産		
投資有価証券	1,289,841	1,255,319
退職給付に係る資産	423,979	422,362
繰延税金資産	26,900	26,853
その他	381,726	392,756
貸倒引当金	△5,750	△5,750
投資その他の資産合計	2,116,697	2,091,542
固定資産合計	7,483,918	7,264,975
資産合計	17,043,488	16,879,264

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,549,786	2,505,939
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
リース債務	77,406	77,743
未払法人税等	270,666	335,163
賞与引当金	199,374	307,995
役員賞与引当金	15,000	18,800
製品保証引当金	7,600	8,700
未払消費税等	63,563	54,142
未払金	50,142	31,508
未払費用	562,571	527,379
設備関係支払手形	126,476	26,035
その他	346,744	266,810
流動負債合計	4,329,332	4,220,217
固定負債		
長期借入金	120,000	105,000
リース債務	236,347	212,458
繰延税金負債	231,329	193,608
役員退職慰労引当金	33,176	36,019
退職給付に係る負債	27,542	28,939
資産除去債務	114,640	114,640
その他	7,370	6,170
固定負債合計	770,406	696,835
負債合計	5,099,739	4,917,053
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,093,978	1,093,978
資本剰余金	757,373	757,373
利益剰余金	9,612,444	9,711,660
自己株式	△35,756	△35,951
株主資本合計	11,428,039	11,527,061
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	468,570	444,351
為替換算調整勘定	△244,308	△295,006
退職給付に係る調整累計額	144,550	137,669
その他の包括利益累計額合計	368,812	287,014
非支配株主持分	146,896	148,134
純資産合計	11,943,749	11,962,210
負債純資産合計	17,043,488	16,879,264

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	4,112,202	4,333,378
売上原価	3,717,873	3,801,557
売上総利益	394,329	531,821
販売費及び一般管理費		
販売費	183,358	180,187
一般管理費	183,492	176,048
販売費及び一般管理費合計	366,851	356,235
営業利益	27,478	175,585
営業外収益		
受取利息	244	3,999
受取配当金	13,616	16,276
その他	5,441	9,934
営業外収益合計	19,302	30,211
営業外費用		
支払利息	740	551
為替差損	7,508	5,646
その他	380	499
営業外費用合計	8,629	6,697
経常利益	38,151	199,099
特別利益		
固定資産売却益	464	410
特別利益合計	464	410
特別損失		
固定資産売却損	3	1,158
固定資産除却損	143	0
特別損失合計	147	1,158
税金等調整前四半期純利益	38,468	198,351
法人税、住民税及び事業税	61,912	83,826
法人税等調整額	△2,348	△24,062
法人税等合計	59,564	59,763
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△21,095	138,587
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,376	4,737
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△18,719	133,850

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△21,095	138,587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,626	△24,219
為替換算調整勘定	1,810	△54,197
退職給付に係る調整額	807	△6,880
その他の包括利益合計	32,245	△85,297
四半期包括利益	11,149	53,290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,993	52,052
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,844	1,237

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算について、連結子会社は当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
--

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社および国内連結子会社では主に定率法を採用する一方、海外連結子会社では定額法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より当社および国内連結子会社において定額法に変更しております。

これは、当社および国内連結子会社の有形固定資産の使用実態などを検討した結果、定額法による平準化した減価償却が資産の稼働実態を適切に反映した費用配分方法であると判断し、変更いたしました。

この変更により、従来の定率法を継続した場合と比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ21,026千円増加しております。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
--

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	アメリカ	インド	タイ	インド ネシア	計			
売上高									
外部顧客への 売上高	2,762,572	265,643	432,879	617,834	33,272	4,112,202	4,112,202	—	4,112,202
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	113,072	—	166,965	90,923	—	370,961	370,961	△370,961	—
計	2,875,644	265,643	599,844	708,758	33,272	4,483,163	4,483,163	△370,961	4,112,202
セグメント利益 又は損失(△)	△63,256	20,913	92,197	37,043	△50,267	36,630	36,630	1,521	38,151

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	アメリカ	インド	タイ	インド ネシア	計			
売上高									
外部顧客への 売上高	2,843,294	260,849	474,741	692,369	62,123	4,333,378	4,333,378	—	4,333,378
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	100,096	—	202,909	66,584	—	369,590	369,590	△369,590	—
計	2,943,390	260,849	677,651	758,953	62,123	4,702,969	4,702,969	△369,590	4,333,378
セグメント利益 又は損失(△)	△12,015	32,886	148,656	30,574	△158	199,943	199,943	△843	199,099

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。